

二条中学校便り

第 1 6 号

平成18年12月22日

京都市立二条中学校

年の瀬です。この1年を振り返り、新しい年を迎える準備をしましょう！



12月18日に、2年生の「生き方探究チャレンジ事業」を締めくくる学習発表会が開かれました。26の事業所ごとに生徒たちが写真や吹き出しなどを工夫したプレゼンテーションを作成し、地域や保護者の方の前で全員が堂々と発表しました。特に自分が体験しなかった、他の友達の職場での写真やビデオには歓声があがり、楽しいひとときを過ごせました。実社会を垣間見たこの貴重な体験は中学校生活後半に良い影響を与えてくれることでしょう。

今年の授業も今日でひと区切りです。昨今は子どもをめぐる痛ましい事件や事故も多く、今年を表す字「命」について深く考えさせられた一年でした。二条中学校では日常の学校生活や数多くの行事の中で、生徒たちがそれぞれに全力を発揮して活躍し、確かな成長が見られたと思います。日々、保護者の方々や地域の皆様には本校へのご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。子どもたちを取り巻く環境や私たちの社会が、心豊かにお互いを尊重しあえるものになることを願っています。

年末・年始について、少し話します。2006年(平成18年)の終りは次の年の2007年(平成19年)に直結しています。年末に2006年を締めくくると同時に、直ちに2007年の新しい年を誰もが迎えます。

ところで、この新しいという言葉の概念ですが、**新しさは若さに繋がる**と言われていています。この若さについてです。日本の国では古来より神々は若さを喜ぶ、といわれてきます。皆さん方の家でも正月には門ごとに若松をたてますね。新年は水も若くなっていると言われていています。特に元旦に最初にくんだ水は、年の初めの水であるために、特別に若く神聖でどのような理屈もつけず、ただ尊いがために寿いで飲みます。

そうした新年を若さにあふれた皆さん方が再び次の年を歩み出します、すなわち**2007年(平成19年)**を出発するのです。そして本校においても**9日より二学期(後期)の後半部がスタート**します。そこからは3年生の皆さんは義務教育9カ年の総仕上げに向け、自らの進路を決定する正念場を迎えます。一方1,2年の皆さんは学年ごとの締めくくりと次年度の進級に向けての重要な時期を迎えるのです。

その意味で、年始は誰もが自分自身をしっかりと見つめ直して歩み出すスタートの時期であることをとらえていただきたいと思っています。

(12/22 全校集会 校長の話より 抜粋)

17日間の冬季休業が始まります。それぞれの家庭の生活や地域の行事にも積極的に

参加し、年の節目を味わってください。

寒い日々ですが健康に留意し1月9日(火)の朝に元気に会えることを願っています。

